

生物多様性保全上重要な里地里山での活動 2021年



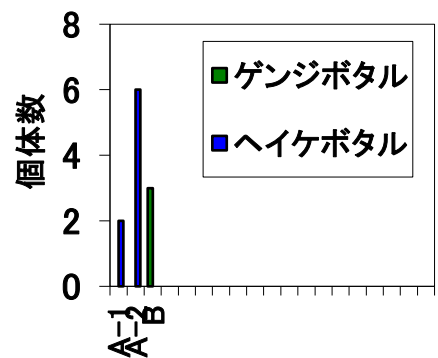
- 2008年から継続、環境省モニタリング1000里地調査に取り組んでいます。●登録サイト名「尾山耕地・中津川周辺」
調査項目：植物相・ホタル類・カエル類・カヤネズミ・水環境
- 2006年から継続、モートンイトトンボ調査 東海大北野ゼミとの協同
(2020年はコロナ禍で大学不参加、尾山耕地で耕作の方他が緊急参加)

■ あいかわ自然ネットワーク

■ ホタル類 (調査日:2020年7月11・18・27日8月1日)

ハイケボタルのピーク:7月27日8頭

■ カエル類



(左)3月20日中央水路(右)5月30日バケツの中:ヤマアカガエル幼体・尾あり

3月水路・干上がる直前の雨水溜まりにヤマアカガエルのオタマジャクシ達・バケツに入れ・田んぼの片隅に置き・6月尾が消え・やがて姿が見えなくなり・山にたどりついたでしょうか・・・2021年1月田起こし中に、冬眠ヤマアカガエル幼体を発見

■ カヤネズミ 調査日11月6日

上流側:休耕田にイノシシの通路数本・巢材トダシバが踏み荒らされ・球巢10個のみ確認、下流側:イネ他に5個

■ 水環境 春・夏・秋・冬



8月29日湧水池トウキョウダルマガエル幼体